

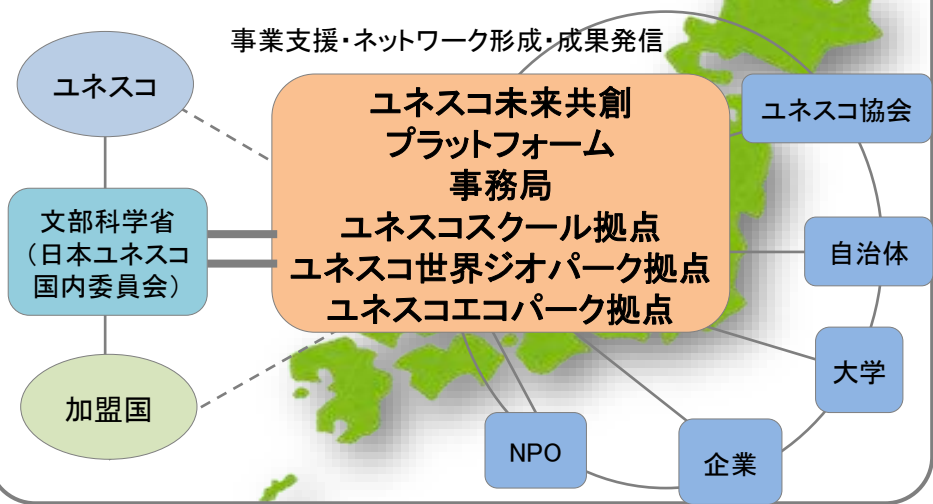
ユネスコ未来共創プラットフォーム

～世界と地域をつなぐユネスコ活動の推進～

令和4年度予算額：88百万円（前年度予算額：92百万円）

- **世界や地域の課題解決に資するユネスコ活動の活性化**に向けて、**SDGsの実現**に向けた取組等を進める多様なステークホルダーの知見を得て、国内活動と国際協力の成果の往還に資するよう、**国内の多様なユネスコ活動ネットワーク拠点の戦略的整備と先進的なユネスコ活動の海外展開**を一体的に推進する体制を構築・運営する。
- **地域の個性とユネスコ活動のメリットを生かした地方創成や多文化共生社会の構築**、**若者**や民間企業を含む多様なステークホルダーとの連携を深める戦略的なプラットフォームの活動を通じて、ユネスコ活動の活性化を通じた「新たな日常」における**持続可能な社会の構築を推進するとともに、多様な変化に対応できる人材の育成**を図る。

<プラットフォームのイメージ>



期待される効果

- ・ **世界や地域の優先課題の解決に資するユネスコ活動の活性化を通じて、持続可能な社会の構築に貢献するとともに、個性を活かした地域づくりや変化に対応できる人材の育成。**
- ・ **日本の取組と国際交流・協力の成果の往還を通じて、基本的価値を共有する国・地域との協力の推進。**

<事業内容>

- ①「ユネスコ未来共創プラットフォーム」事務局の構築・運営
他分野にわたるユネスコ活動の横のつながりと、SDGsの実現に向けて積極的に取り組む多様なステークホルダーの連携、活動成果の国内外への戦略的発信、先進的なユネスコ活動の海外展開を一体的に推進することを目的としたプラットフォームを構築・運営する。
(事業内容)
 - ポータルサイトを通じた分野横断的なユネスコ活動の国内外への情報発信
 - 若者を含む多様なステークホルダーとの対話を通じた連携の促進
 - SDGs実現に向けた全国及び地域、活動分野間ネットワークの構築
 - 海外展開を行う草の根のユネスコ活動の公募・審査・実施 等
- ②ユネスコスクールネットワーク拠点の運営
ユネスコスクール事務局として、「持続可能な社会の創り手」育成の拠点となるユネスコスクールの活動支援やネットワーク機能の強化等を行う。
(事業内容)
 - ユネスコスクールの加盟申請及び定期レビューに係る業務
 - 国内ユネスコスクールに関する情報収集及び発信
 - ユネスコスクールの活動支援（講習会、研修会の開催等）
 - ユネスコスクール支援大学間ネットワーク(ASPUnivNet)の支援等
- ③ユネスコ世界ジオパーク拠点の運営
日本ジオパーク委員会の事務局として、ユネスコへの推薦に係る業務、再認定審査に係る業務、選考基準策定、ユネスコとの連絡調整等を行うとともに、我が国におけるユネスコ世界ジオパーク活動を推進し情報発信を強化する。
- ④ユネスコエコパーク拠点の運営
日本国内のユネスコエコパークについて、国際的な動向を踏まえた管理運営を推進することを目的とした実務者ワークショップを企画・開催する。
海外ユネスコエコパーク実務担当者との意見交換等による管理運営ノウハウの共有等